

平成 1 4 年度第 4 回法務委員会議事抄録

日 時 平成14年 9月 17日 (火)

1300 ~ 1800

場 所 操縦士協会事務局会議室

1.第3回法務委員会議事録の確認

2.座席保険の件、進捗状況

自家用会員に対し、アンケートの形で実態調査を行った。

機体保険、第三者保険の加入率は高かったものの、座席保険の加入率は低かった。

要因としては保険料が高額、加入手続きが煩雑さ等が考えられる。

委員会して、万一の事故を考え、座席保険の加入率を高めようと保険について研究した。

フリート契約、団体契約は自家用にはそぐわない。

スポット契約できるものもあるので勉強会を開いてみてはどうか。

実際の飛行時間、飛行経験に対して細分化された保険はできないものか。

無保険の機体保有者に注意喚起してはどうか。

前席の2席に保険をかけ、もしもの時は同乗者で分配してはどうか等の意見があった。

現段階では協会として保険加入を斡旋したり、強制したりできるものではないため、当面様子を見ることとした。

3.山口真弘氏との会見報告

去る7月11日、田古里副会長と長谷川法務委員長により山口氏に今後の協会・法務委員会活動についてご意見をお伺いする場を持った。

山口氏ご本人は、高齡のため今後書籍の出版等膨大な研究時間を必要とするものを手掛けるのは無理がある様子であったが、今後、法務委員会がどのような方向へ活動をしていくべきか等の話を伺うことができた。

委員からは、法律問題に詳しい池田先生と対談していただき、P I L O T誌に掲載してはどうかとの意見があった。

対談していただくためには相応の準備が必要で、まず、佐藤、染谷両委員に対談にふさわしいテーマを幾つか提出してもらうこととした。

4. J L 9 0 7 事故調査報告書について

事故調査報告書より事故概要、原因、建議、勧告を確認し、今後、法務委員会としてどのような活動をするかを検討する。

原因および建議、勧告の中にも操縦士から見ると議論の余地がある点が何件がある。委員会としては今まで通りの関心を持って望むことを確認した。

5.その他

次回法務委員会は10月15日実施予定。

以上